



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 又は損失(△)		経常利益 又は損失(△)		親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,492	19.3	682	—	866	—	591	—
2020年3月期第2四半期	18,023	△19.9	△104	—	△21	—	△227	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 633百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △187百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益 又は1株当たり 四半期純損失(△)	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.23	14.22
2020年3月期第2四半期	△5.87	—

(注) 1. 2021年3月期第2四半期の売上高を除く各項目の対前年同四半期増減率については、2020年3月期第2四半期が営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載しておりません。

2. 2020年3月期第2四半期の売上高を除く各項目の対前年同四半期増減率については、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	20,474	12,991	62.4	307.42
2020年3月期	18,986	12,448	64.6	294.90

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,785百万円 2020年3月期 12,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	2.60	2.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,355	18.9	824	318.0	1,010	148.2	525	218.7	12.62

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 1株当たり当期純利益は、当第2四半期末の発行済株式数である41,588,500株を期中平均株式数と仮定して算出しております。
3. 現在、新型コロナウイルス感染症拡大による将来の動向を予測することが困難な状況ではありますが、2020年3月期第4四半期会計期間からの広告主(クライアント)の業界動向・広告出稿状況及び当社役職員の勤務形態・状況等を鑑み、現時点では当社グループに与えるマイナス影響は微少なものと予測し、2021年3月期の業績予想を修正しております。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大や終息時期によって変動する可能性があります。
4. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	41,588,500株	2020年3月期	41,588,500株
2021年3月期2Q	0株	2020年3月期	0株
2021年3月期2Q	41,588,500株	2020年3月期2Q	38,750,700株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で使用する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト (<https://ir.adways.net/>) にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日)の当社グループにおきましては、主力の広告事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う可処分時間の増加等を背景に、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まるとともに、大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始により、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告費も増加いたしました。また、第1四半期連結会計期間で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業も徐々に回復基調をたどっていること等により、前年同期比に対して売上高は増収、利益におきましても増益となりました。以上の通り、当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に起因するマイナス影響は微少であり、総じて好調に推移いたしました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2021年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	18,023,498	21,492,990	3,469,492 (19.3%)
営業利益 又は損失(△)	△104,958	682,439	787,397 (—)
経常利益 又は損失(△)	△21,248	866,776	888,025 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△227,495	591,804	819,299 (—)

(注) 前第2四半期連結累計期間において、営業損失、経常損失、及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、対前年同期増減率は記載しておりません。

売上高は、スマートフォン向け広告サービスの「UNICORN」が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛による可処分時間の増加によりマンガアプリを展開する広告主(クライアント)の広告需要の高まり、並びにゲームアプリを展開する広告主(クライアント)が大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始等による広告費の増加を受け、3,469,492千円増加の21,492,990千円(前年同期比19.3%増)となりました。

営業利益は、売上高及び売上総利益が増加したこと等により682,439千円(前年同期は104,958千円の損失)、経常利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益の増加等により866,776千円(前年同期は21,248千円の損失)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券売却益等による特別利益を計上したものの、投資有価証券評価損等による特別損失を計上し811,727千円(前年同期は33,268千円の損失)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等を計上したこと等により591,804千円(前年同期は227,495千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

			前第2四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2021年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	8,921,481	11,765,642	2,844,160 (31.9%)
		PC向け広告	7,238,327	7,075,376	△162,951 (△2.3%)
		合計	16,159,809	18,841,018	2,681,209 (16.6%)
	②メディアコンテンツ事業	306,977	337,171	30,193 (9.8%)	
	③海外事業	1,330,107	2,075,884	745,777 (56.1%)	
	④その他	226,604	238,915	12,311 (5.4%)	
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	897,093	1,657,971	760,877 (84.8%)	
	②メディアコンテンツ事業	30,932	28,475	△2,456 (△7.9%)	
	③海外事業	△194,207	△111,507	82,699 (—)	
	④その他	△39,862	△76,286	△36,424 (—)	

(注)セグメント利益又はセグメント損失のうち、海外事業及びその他の対前年同四半期比増減率は、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間においてセグメント損失であるため記載しておりません。

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、日本でのインターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、「UNICORN」が好調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う可処分時間の増加による、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まったこと、並びにゲームアプリを展開する広告主(クライアント)の大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始による広告費の増加により、売上高は11,765,642千円(前年同期比31.9%増)となりました。

PC向け広告は、主に新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、金融関連企業の新規顧客獲得抑制があり、金融関連企業の広告主(クライアント)からの広告予算が縮小したこと等により、売上高は7,075,376千円(前年同期比2.3%減)となりました。

この結果、広告事業の売上高は18,841,018千円(前年同期比16.6%増)、セグメント利益は1,657,971千円(前年同期比84.8%増)となりました。

なお、スマートフォン向け広告は主にアプリ向け広告の売上高で、スマートフォンブラウザを介したweb広告の売上高はスマートフォン向け広告ではなく、PC向け広告に含めております。

②メディアコンテンツ事業

メディアコンテンツ事業は、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて主に土業向けのポータルサイト等の運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間におけるメディアコンテンツ事業は、第1四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動の制限されておりましたが、徐々に緩和されてきたこと等により、売上高は337,171千円(前年同期比9.8%増)となり、セグメント利益は28,475千円(前年同期比7.9%減)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール等において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、スマートフォン向け広告において、中国でゲームアプリを展開する広告主(クライアント)の中国国外への展開強化に伴うグローバル広告配信の需要が拡大したことに加え、中国EC事業者が展開する台湾向け広告配信の需要が大幅に増加したこと等により、売上高は前年同期比で大きく伸びました。この結果、売上高は2,075,884千円(前年同期比56.1%増)となり、セグメント損失は111,507千円(前年同期は194,207千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

その他に含まれるインフルエンサー関連事業では、インフルエンサーマーケティングの企画運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、インフルエンサーを活用した企画、コンテンツ制作に注力したことにより、売上高は238,915千円(前年同期比5.4%増)と増加したものの、新技術に対する研究開発に注力したこと等の要因により、セグメント損失は76,286千円(前年同期は39,862千円の損失)となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	18,986,441	20,474,440	1,487,998 (7.8%)
負 債 合 計	6,537,986	7,483,082	945,095 (14.5%)
純 資 産 合 計	12,448,454	12,991,358	542,903 (4.4%)

[資産合計]

- ・流動資産は、前連結会計年度末より1,316,737千円増加し17,664,768千円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,633,991千円増加したことによるものであります。
- ・固定資産は、前連結会計年度末より171,260千円増加し2,809,672千円となりました。主な要因は、有形固定資産が64,551千円減少したものの、投資その他の資産合計が202,278千円増加したこと等によるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は、前連結会計年度末より943,249千円増加し7,333,945千円となりました。主な要因は、買掛金が620,858千円増加したこと等によるものであります。
- ・固定負債は、前連結会計年度末より1,845千円増加し149,136千円となりました。主な要因は、その他に含まれる長期資産除去債務が17,550千円減少したものの、長期繰延税金負債が19,440千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・純資産は、前連結会計年度末より542,903千円増加し12,991,358千円となりました。主な要因は、利益剰余金が487,832千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、11,361,165千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,820,598千円の収入(前年同期は985,202千円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益811,727千円、仕入債務の増加615,345千円、未払消費税等の増加201,116千円によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、80,720千円の支出(前年同期は178,868千円の支出)となりました。主な要因は、投資事業組合からの分配による収入49,430千円及び投資有価証券の売却による収入43,279千円があったものの、投資有価証券の取得による支出108,897千円、無形固定資産の取得による支出65,155千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、103,828千円の支出(前年同期は132,814千円の支出)となりました。要因は、配当金の支払による支出103,828千円があったことによるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われまます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォン向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、従業員とその家族並びに取引先への安全確保を最優先に考え、在宅勤務を継続するとともに、オンラインツールを活用した営業活動を展開すること等により新型コロナウイルス感染症拡大の防止を図っております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業も徐々に回復傾向にあります。主力の広告事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛に伴う可処分時間の増加等を背景に、マンガアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告需要が高まり、売上高が大幅に伸長しております。加えて、大型新作ゲームアプリのリリースやキャンペーンの開始により、ゲームアプリを展開する広告主(クライアント)からの広告費が増加、並びに海外事業におけるスマートフォン向け広告において、中国のゲームアプリを展開する広告主(クライアント)が中国国外への展開を強化したことに伴う広告費が増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に起因するマイナス影響は微小であり、総じて好調に推移いたしました。

現時点では新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は上記のとおりであります。感染の拡大や終息時期によって著しく変化する事が想定されるため、今後も動向に注視してまいります。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の売上高は、44,355百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により824百万円を見込んでおり、経常利益1,010百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は525百万円を見込んでおります。

なお、連結業績予想の修正については、本日(2020年11月6日)開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,727,173	11,361,165
受取手形及び売掛金	5,812,299	5,820,432
たな卸資産	15,783	16,762
その他	826,228	503,247
貸倒引当金	△33,454	△36,838
流動資産合計	16,348,030	17,664,768
固定資産		
有形固定資産	235,321	170,769
無形固定資産		
のれん	15,395	11,097
その他	281,494	319,326
無形固定資産合計	296,890	330,424
投資その他の資産		
その他	2,266,644	2,463,061
貸倒引当金	△160,445	△154,583
投資その他の資産合計	2,106,199	2,308,477
固定資産合計	2,638,411	2,809,672
資産合計	18,986,441	20,474,440
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,137,725	5,758,583
未払法人税等	84,921	262,783
その他	1,168,049	1,312,578
流動負債合計	6,390,696	7,333,945
固定負債		
その他	147,290	149,136
固定負債合計	147,290	149,136
負債合計	6,537,986	7,483,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,955	1,605,955
資本剰余金	6,835,593	6,835,593
利益剰余金	3,341,533	3,829,366
株主資本合計	11,783,081	12,270,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,628	318,014
為替換算調整勘定	220,921	196,260
その他の包括利益累計額合計	481,550	514,275
新株予約権	40,820	53,743
非支配株主持分	143,001	152,424
純資産合計	12,448,454	12,991,358
負債純資産合計	18,986,441	20,474,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
売上高	18,023,498	21,492,990
売上原価	15,053,910	17,498,736
売上総利益	2,969,587	3,994,253
販売費及び一般管理費	3,074,546	3,311,814
営業利益又は営業損失 (△)	△104,958	682,439
営業外収益		
受取利息	5,871	6,196
為替差益	5,748	-
持分法による投資利益	52,061	89,603
消費税等免除益	1,754	1,130
投資事業組合運用益	-	70,764
その他	26,944	17,137
営業外収益合計	92,380	184,833
営業外費用		
為替差損	-	462
投資事業組合運用損	8,029	-
その他	641	33
営業外費用合計	8,671	495
経常利益又は経常損失 (△)	△21,248	866,776
特別利益		
関係会社株式売却益	12,468	-
投資有価証券売却益	54,061	72,429
特別利益合計	66,529	72,429
特別損失		
投資有価証券評価損	75,141	91,410
関係会社株式売却損	3,407	-
固定資産除却損	-	20,643
在外連結子会社リストラクチャリング費用	-	15,423
特別損失合計	78,548	127,478
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△33,268	811,727
法人税、住民税及び事業税	46,320	216,634
法人税等調整額	142,520	△5,885
法人税等合計	188,841	210,748
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△222,109	600,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,385	9,174
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△227,495	591,804

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△222,109	600,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104,415	57,386
為替換算調整勘定	△64,188	△26,398
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,353	1,986
その他の包括利益合計	34,873	32,973
四半期包括利益	△187,235	633,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,492	624,529
非支配株主に係る四半期包括利益	1,256	9,423

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△33,268	811,727
減価償却費	66,819	73,123
のれん償却額	4,298	4,298
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37,492	1,001
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,320	-
株式報酬費用	13,595	12,922
受取利息及び受取配当金	△9,639	△10,906
投資事業組合運用損益 (△は益)	8,029	△70,764
持分法による投資損益 (△は益)	△52,061	△89,603
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	21,080	18,981
関係会社株式売却損益 (△は益)	△9,060	-
固定資産除却損	-	20,686
在外連結子会社リストラクチャリング費用	-	15,423
売上債権の増減額 (△は増加)	△237,067	△18,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,764	615,345
未収入金の増減額 (△は増加)	△12,887	△5,815
前払費用の増減額 (△は増加)	△49,966	△40,961
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△48,436	3,993
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△76,125	227,387
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△141,712	201,116
前受金の増減額 (△は減少)	116,481	△77,172
預り金の増減額 (△は減少)	△32,601	7,193
その他	△90,582	△23,515
小計	△576,698	1,675,601
利息及び配当金の受取額	10,946	12,100
補助金の受取額	11,784	2,737
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△431,236	130,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△985,202	1,820,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付金の回収による収入	7,261	7,159
貸付けによる支出	△18,730	△1,000
投資事業組合からの分配による収入	2,929	49,430
投資有価証券の売却による収入	60,717	43,279
投資有価証券の取得による支出	△179,996	△108,897
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△27,138	-
関係会社株式の売却による収入	29,400	-
有形固定資産の取得による支出	△23,709	△12,149
無形固定資産の取得による支出	△27,982	△65,155
その他	△1,620	6,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,868	△80,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△132,814	△103,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,814	△103,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,421	△2,057
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,291,464	1,633,991
現金及び現金同等物の期首残高	10,167,232	9,727,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,875,767	11,361,165

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	16,159,809	306,977	1,330,107	17,796,893	226,604	18,023,498	-	18,023,498
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	237,612	-	16,699	254,312	46,233	300,546	△300,546	-
計	16,397,421	306,977	1,346,807	18,051,206	272,837	18,324,044	△300,546	18,023,498
セグメント利益 又は損失(△)	897,093	30,932	△194,207	733,818	△39,862	693,956	△798,915	△104,958

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△798,915千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	18,841,018	337,171	2,075,884	21,254,074	238,915	21,492,990	-	21,492,990
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	633,932	-	31,089	665,021	27,284	692,305	△692,305	-
計	19,474,950	337,171	2,106,974	21,919,095	266,200	22,185,295	△692,305	21,492,990
セグメント利益 又は損失(△)	1,657,971	28,475	△111,507	1,574,939	△76,286	1,498,653	△816,214	682,439

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△816,214千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。